いわむろ　自然休養村
崖松キャンプ場オープン

家族キャンプにどうぞ

自然休養村事業として、村が進めていた崖松キャンプ場が七月十四日オープンしました。

海と山に囲まれた、絶好な自然環境のなかで、家族キャンプや青少年の教育キャンプ場として野外活動を楽しむことができます。

親と子のふれ合いの機会としてキャンプは最適であるといわれています。

夏休みの楽しい思い出の一コマとして家族づれで利用されてみてはいかがでしょうか。

付近の環境は満点

この崖松キャンプ場は、越後七浦シーサイドラインの田ノ浦ゲートの先にあります。

近くには、田ノ浦海水浴場や、聖地公園、観光牧場、崖松遊歩道、白岩遊歩道、獅子ケ鼻、などがあり、海と山の自然を満喫できます。

キャンプ場には、テント、毛布、食器、燃料、水洗トイレ、シャワー室などが完備しているほか、鉄筋二階建ての管理棟には、管理員が常駐し、場内の監視と指導にあたっています。

申し込み、問い合せは

利用したい方は、次へ連絡して下さい。

◇岩室村役場、企業観光課
TEL　二―四一一一

◇岩室村自然休養村管理センター
TEL　五―二〇四一

使用料

	貸付期間	単位	料金	摘要
貸テント	1日につき	1張	1,500円	5人用
毛布	〃	1枚	100円	
炊事用具	〃	一式	100円	
持込テント	〃	1張	500円	

利用のきまり

みんなの施設です、利用する場合は、次のきまりを守っていただきます。

○キャンプ場を使用するときは、あらかじめ管理者に申し込み、使用料を納入する。原則として七日前までに。

○みだりに火気をしないこと。

○風致を害する行為、風紀秩序を乱し、他人に迷惑をかける行為をしない。

○管理人の指示に従うこと。

○使用規則に定める事項に違反したときは、使用許可を取消す場合があります。

農業者年金法改正のお知らせ

任意加入の政正

◎任意加入（後継者加入）の要件、次の㈠～㈣のすべてに該当する人。

区分	基準日
大正八年七月三日～大正九年一月一日生まれ	昭和四十九年七月一日
大正九年一月二日～昭和十一年一月一日生まれ	昭和五十年一月一日
昭和十一年一月二日～昭和十二年一月一日生まれ	昭和五十一年一月一日
昭和十二年一月二日～昭和十三年一月一日生まれ	昭和五十二年一月一日
昭和十三年一月二日～昭和十四年一月一日生まれ	昭和五十三年一月一日
昭和十四年一月二日～昭和十五年一月一日生まれ	昭和五十四年一月一日

㈠、大正八年七月三日～昭和十五年一月一日までに生まれた人。

㈡、㈠に該当する人は次の表の基準日まで引き続き三年以上の農業従事者であったこと。

㈢、六十才未満であること。

㈣、基準日から申し出日まで引き続き国民年金に加入していること。

(加入の申し出期間)

五十四年十二月三十一日までですので加入もれの人は、すぐ申し出て下さい。

㊟六十才になる人は、六十才になる二日前までに申し出が必要です。

(納める額と納める時期)

一ケ月につき三千六百円（特例納付金）を五十五年十二月三十一日までに農協へ納入すること。

(手続きは)

農協の窓口で行っています。

(任意加入(後継者加入)とは

自分の基準日に父母等が五十アール以上の農業経営主であり、自分は基準日の三年前より農業従事者であること。父母等の後継者として指定を受けていること。

◎当然加入者でも五十四年十二月三十一日まで、加入もれの人のために救済措置がありますので、くわしくは農協の窓口で相談して下さい。

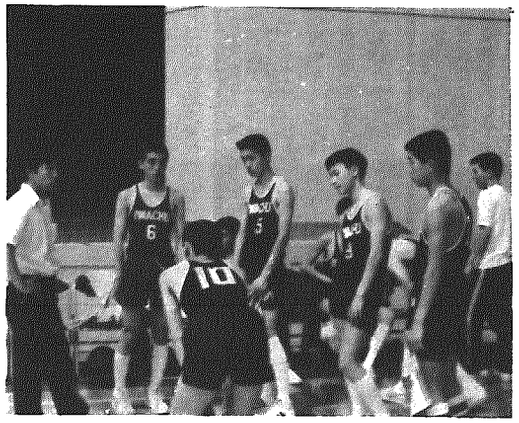
◎農業の経営を他の農家に移譲（賃貸借又は売買）して離農した場合に、離農給付金が支給されます。

高令のために農業者年金に加入できなかった人は、百三十八万円に、その他の人は五十九万円に引き上げられました。

◎以上法改正の概要をお知らせしますが、このほか、いくつかのきまりがありますので、農協又は農業委員会へ問い合わせ下さい。

十四人の汗・県を制覇！
岩中女子バレーボール全国大会へ
男子バスケットも有力

全国大会出場の道のり



決勝戦一セット、なすところなく失い、二セット五対一一とリードされて、岩中は死んだと覚悟したときから、山田のブロック、海津のサーブで蘇って切り開いた全国への道でした。

昨年県大会で初めて入賞し、十月の新人戦でブロック優勝したときから、全国へのアプローチが始められました。柏刈大会優勝、上越大会三位、寺泊大会二位、年明けの白根大会優勝、西川大会、吉田大会優勝、柏刈大会三位、郡市大会優勝。

土日も練習や試合で明け暮れ、すでに四百セットを超えたでしょうか。

選手たちはよく勉強し、厳しい生活に耐え抜きました。また、彼女たちを取巻く良き理解者―家庭、級友、学校職員、村当局―に恵まれました。代表に決定した瞬間の彼女らのあの涙は、そうした思いが溢れ出たものだったのでしょう。

鍛え抜いたスピード
バスケットボール

県大会準優勝など輝かしい伝統を持つバスケットは今年も安定した強力なチームに育ちました。六月、本番の最初の大会、郡市大会では、決勝トーナメントでも、対弥彦中八―三六、準決勝対巻中六七―三二、決勝対燕中七七―三六と圧勝することができました。

大型でない今年のチームは、スピードがあり入部以来三年間グランドで走り通したことが他の追随を許さないスピードと高度の確かな技を生みました。年三回ある燦光杯には、県下の強豪相手に連続優勝し、寺泊、西川、岩室の大会にも優勝して、目下県の最強チームと評価されています。

全国大会へは、地区、県、信越大会まで勝ち残らねばならない苦難の連続です。これまでに積み重ねた成果にゆるぎない闘志を張らせて、宿願を果たしたいものです。

西蒲・燕・郡市大会結果

〈団体種目〉
優勝　バスケットボール
　　バレーボール
三位　野球

〈個人種目〉
二位（陸上八百米）
　渡辺　和子
　穐山美恵子
　荒川　秀子
三位（体操）
　小林　明美
（陸上）
　小林　昭二（二百米）
　槇田　明美（百米）

逆転につぐ逆転
ドラマチックな勝利

岩室中学校長　小田志朗

決勝戦の相手は、中学バレーの名門中之島北中、第一セットは接戦しつつもベースに乗れず敗けました。

いよいよ第二セット正念場を迎えました。相手の怒濤の勢を変えることができないで、あっという間に一一―四とリードされました。誰しも全国大会への夢が消えるのかと―。

この断崖の絶壁に立たされ、敗戦必至とみられていた時に、ドラマチックな逆転劇がおきたのです。固さがとれマイペースに乗りに乗り、またたく間に一五―一二で勝ちました。ここが勝敗のわかれであり、第三セットは寄せつけずわずか一点を与えたのみで優勝したのであります。

準決勝の対巻中も第一セットをとられました。本大会は文字どおり逆転につぐ逆転の勝利だったのです。

優勝の瞬間抱き合って、歓喜の涙にむせび泣く選手、よくぞ勝ってくれた、感謝の気持で一ぱいでした。

宿願全国大会出場を果したバレー部は、偉大な伝統を樹立してくれました。このことが〝岩中生はやればできるのだ〟という全生徒のモラルを高める上で、図り知れない力となるのです。

選手個人もあの苦難を乗りこえての勝利は、何ものにもまさる人生経験だったでしょう。バレー部の全国大会での活躍を祈るとともに、ついで籠球部の全国大会出場を期待し、一万村民のあたたかい支援を願います。